

# 木材需給動向について (全国)

2025年5月

林野庁

林産物に関するマンスリーレポート「モクレポ」

木材・木材製品、特用林産に関する最新の統計データや、林野庁の施策に関するトピックス、セミナー・イベントの情報などを取りまとめ、毎月中旬に更新しています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/toukei/monthlyreport.html>

(QRコードからもアクセスできます。)



# 目次

---

## 1 価格の動向

### (1) 原木価格（原木市場・共販所）

ア スギ（全国）

イ ヒノキ（全国）

### (2) 製品価格

## 2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

(1) 製材（全国）

(2) 合板（全国）

(3) チップ（全国）

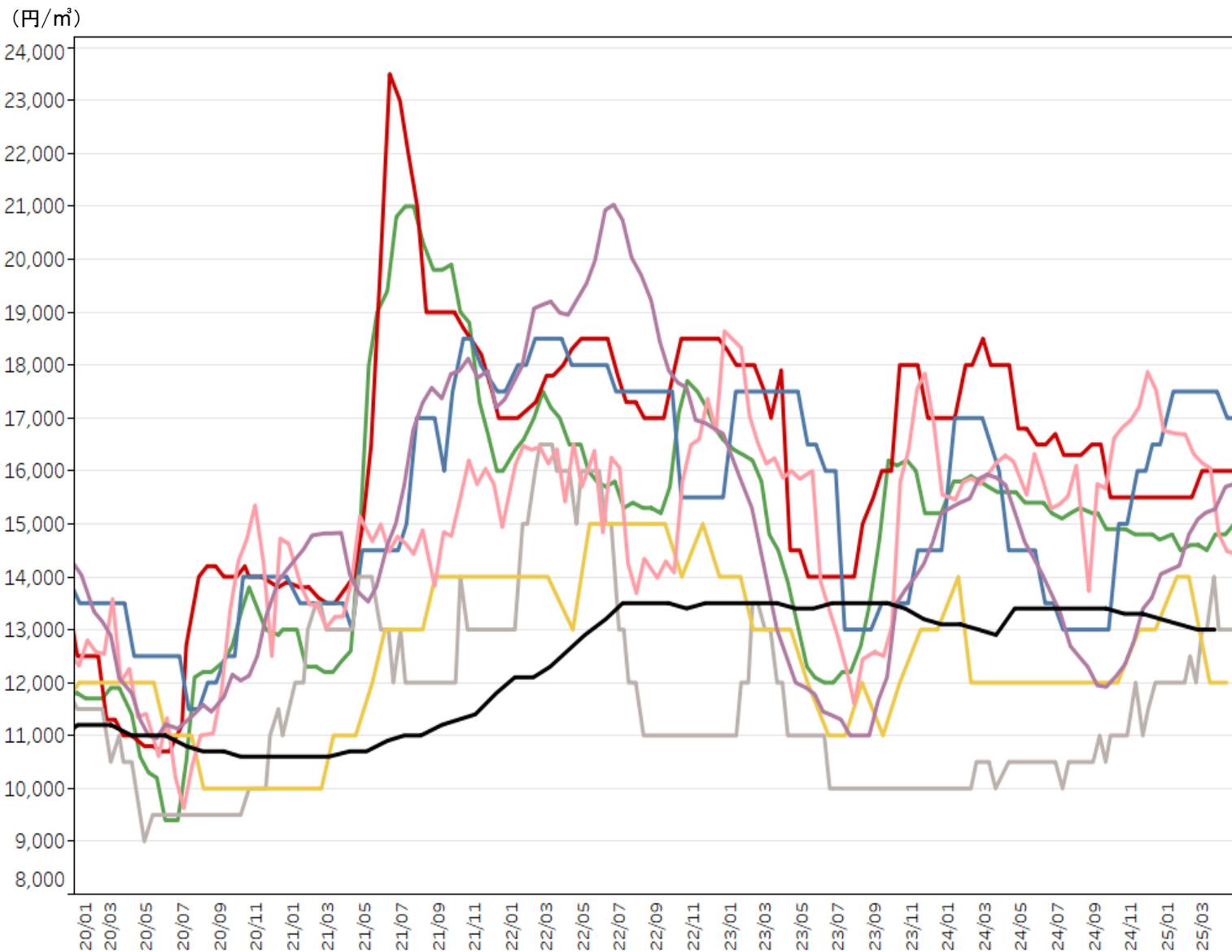
## 3 住宅着工戸数の動向

## 4 木材輸出量

# 1 価格の動向 (1) 原木価格 (原木市場・共販所)

## ア スギ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2020年1月~)

- 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、12,000円~17,000円/m<sup>3</sup>となっている。



(単位：円/m<sup>3</sup>)

都道府県	2025年直近*	前年同期	前年同期比
北海道	13,000	12,900	101%
秋田県	15,750	15,160	104%
栃木県	14,440	16,180	89%
長野県	12,000	12,000	100%
岡山県	13,000	10,500	124%
高知県	17,000	14,500	117%
熊本県	16,000	16,800	95%
宮崎県	15,000	15,600	96%

※北海道については3月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については4月の値を使用。

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

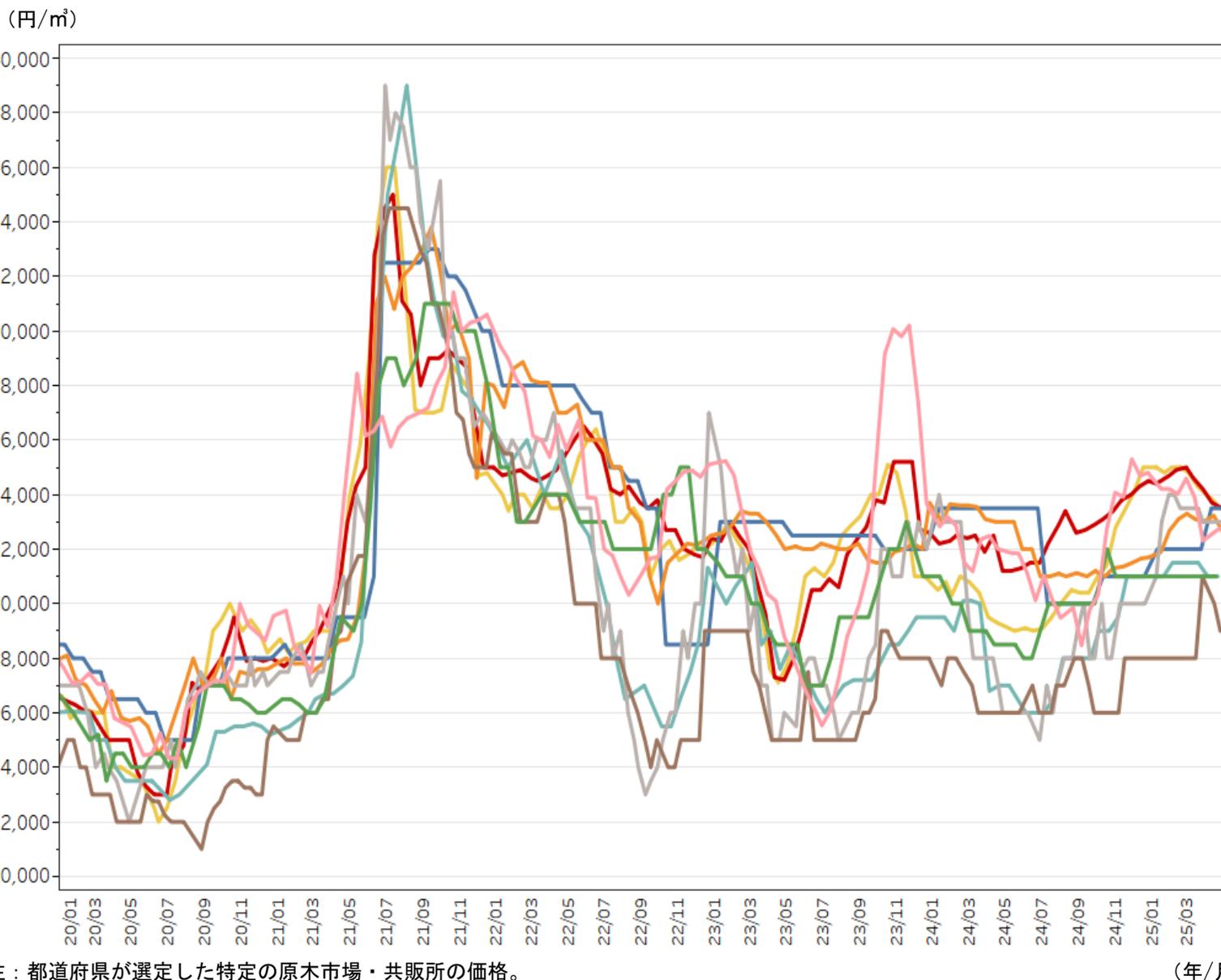
注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(年/月)

資料：林野庁木材産業課調べ

# イ ヒノキ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2020年1月~)

・ 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、19,000円~23,700円/m<sup>3</sup>となっている。



(単位：円/m<sup>3</sup>)

都道府県	2025年直近*	前年同期	前年同期比
栃木県	22,760	22,010	103%
静岡県	21,000	18,500	114%
兵庫県	19,000	16,000	119%
岡山県	23,000	16,000	144%
広島県	21,000	17,000	124%
愛媛県	22,600	23,000	98%
高知県	23,500	23,500	100%
熊本県	23,500	21,200	111%
大分県	23,700	19,300	123%

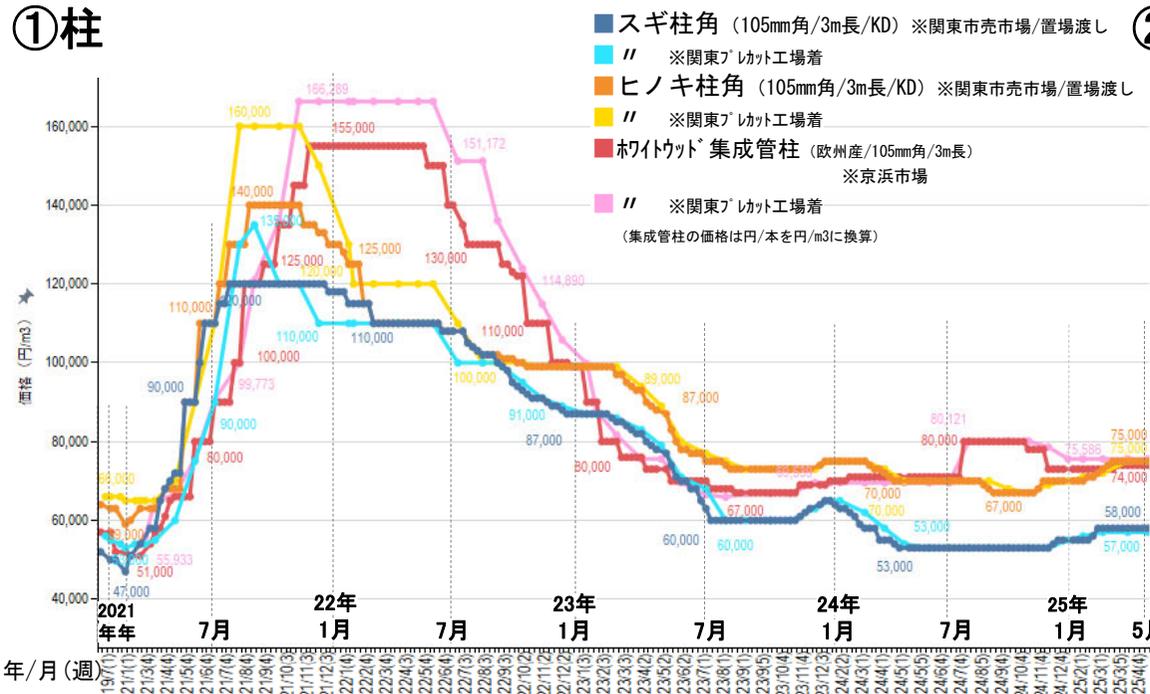
※各県4月の値を使用。

注：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。  
資料：林野庁木材産業課調べ

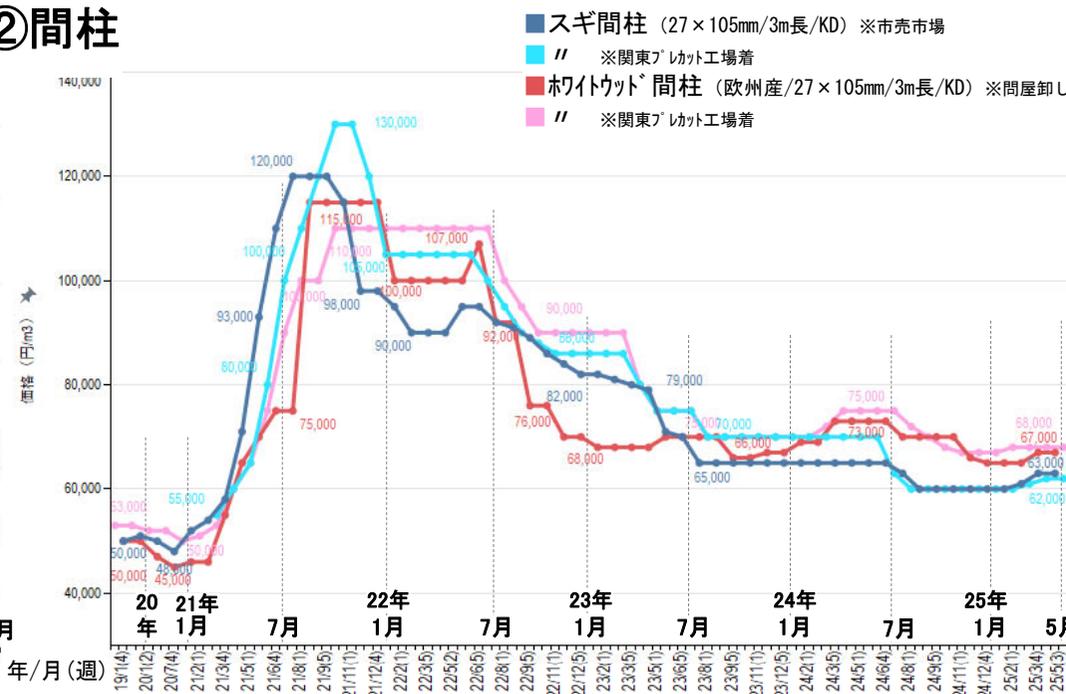
## (2) 製品価格

令和3(2021)年は、世界的な木材需要の高まり等により輸入材製品価格が高騰し、代替需要により国産材製品価格も上昇。令和4(2022)年以降、柱、間柱、平角の価格は長期的に下落傾向であったが、国産材の柱の価格は令和6(2024)年4月に入り横ばいで推移していたが12月から上昇傾向。構造用合板の価格は、令和7(2025)年1月まで下落を続けた後、上昇傾向。

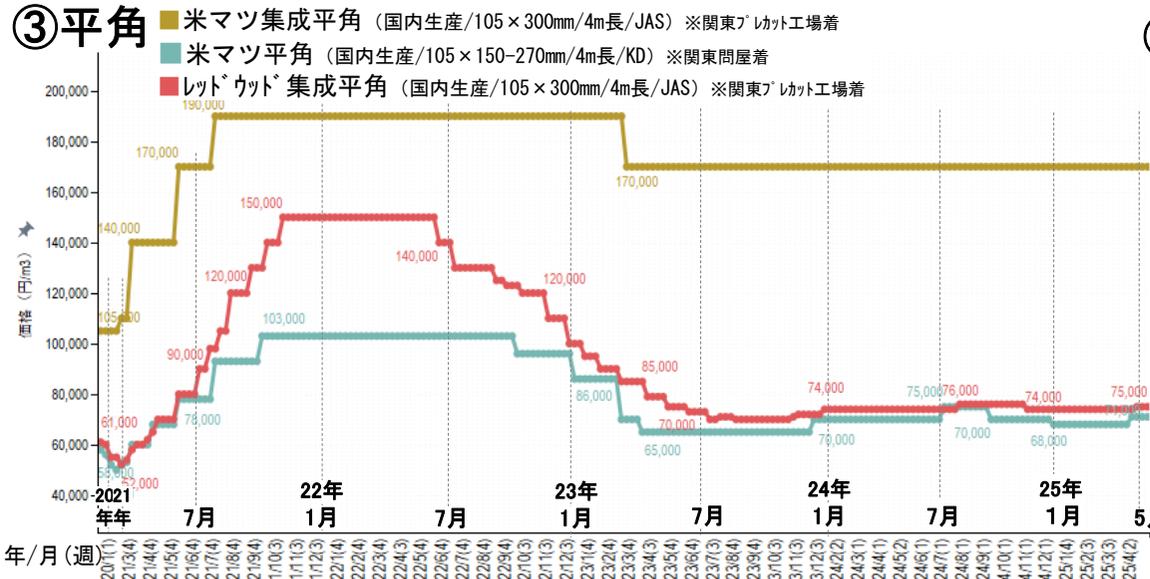
### ①柱



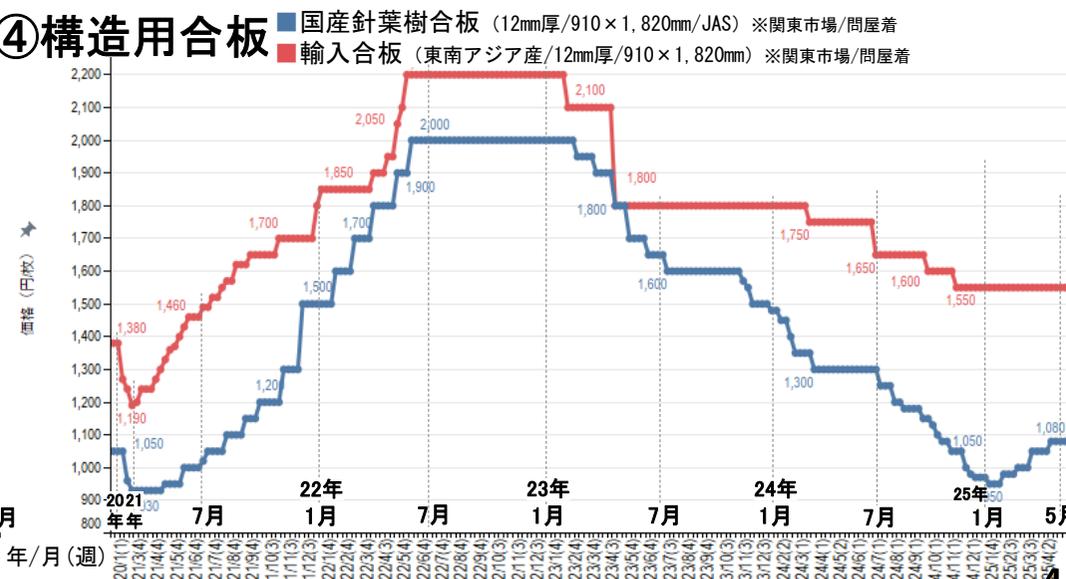
### ②間柱



### ③平角



### ④構造用合板

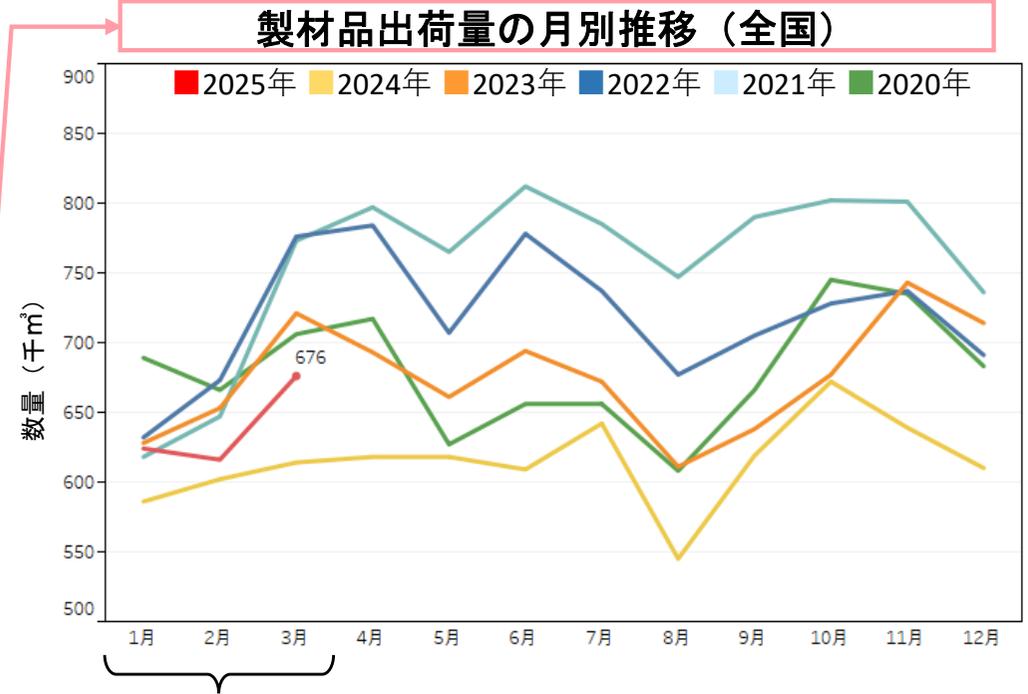
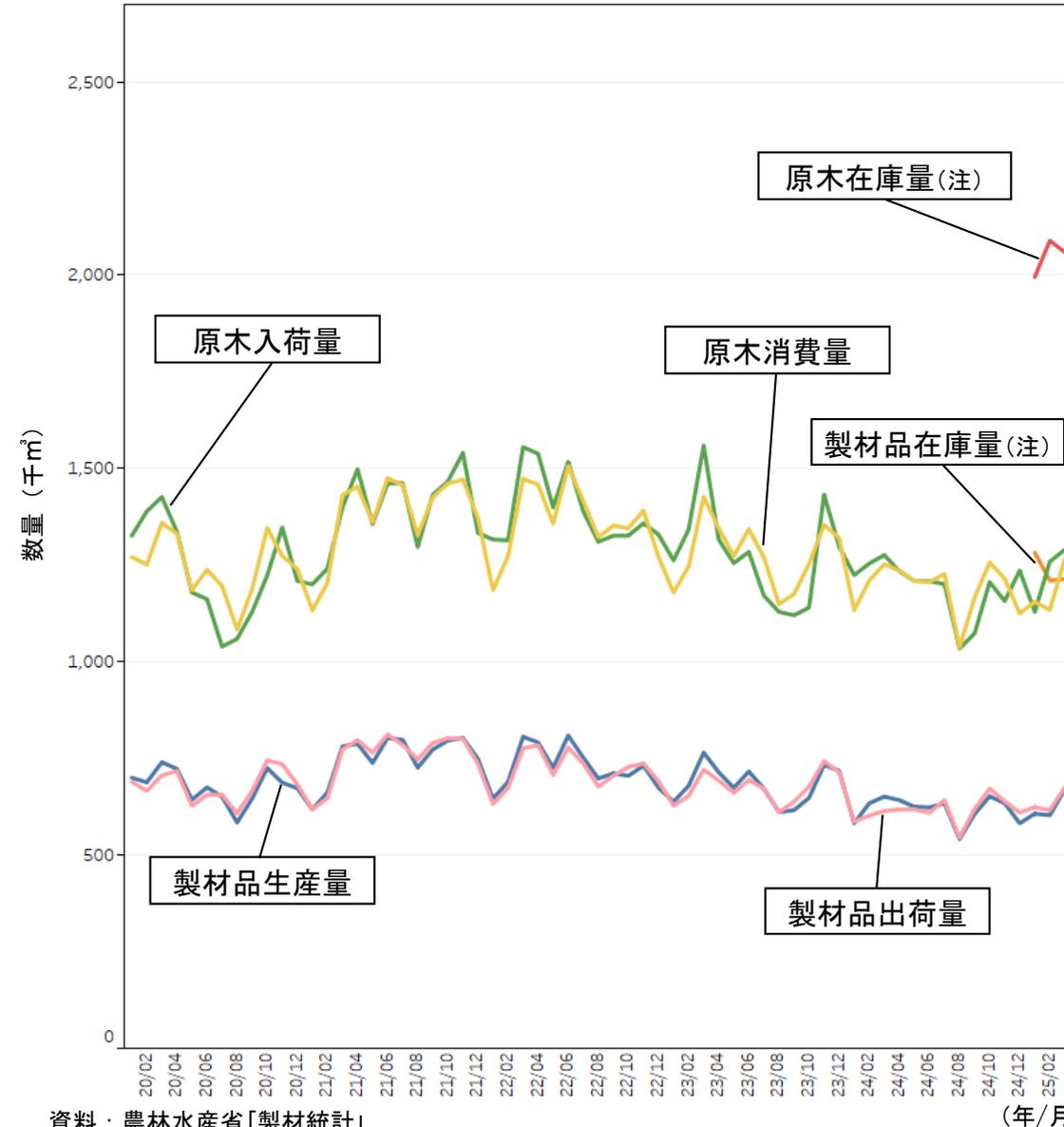


資料：①③④木材建材ウイクリー、①②日刊木材新聞

## 2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

### (1) 製材 (全国)

- 2025年1～3月の原木の入荷量は3,678千m<sup>3</sup> (前年比98%)。
- 同様に製材品の出荷量は1,916千m<sup>3</sup> (前年比106%)。



	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
1～3月原木入荷量合計(千m <sup>3</sup> )	4,141	3,840	4,185	4,163	3,754	3,678
前年との比較	-	93%	109%	99%	90%	98%
1～3月製材品出荷量合計(千m <sup>3</sup> )	2,061	2,038	2,081	2,002	1,802	1,916
前年との比較	-	99%	102%	96%	90%	106%

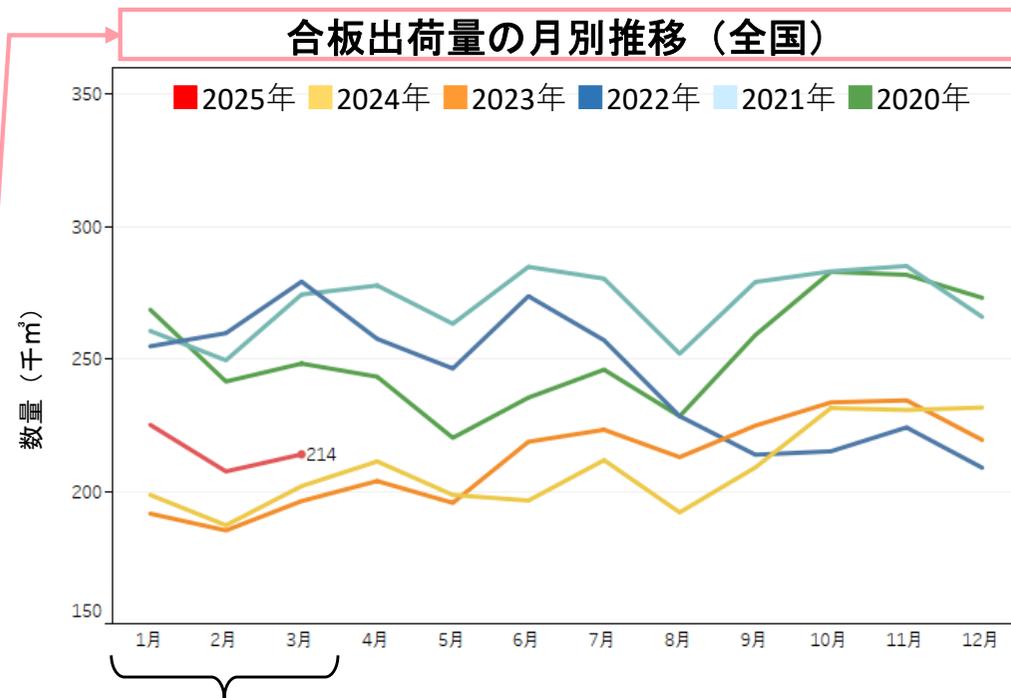
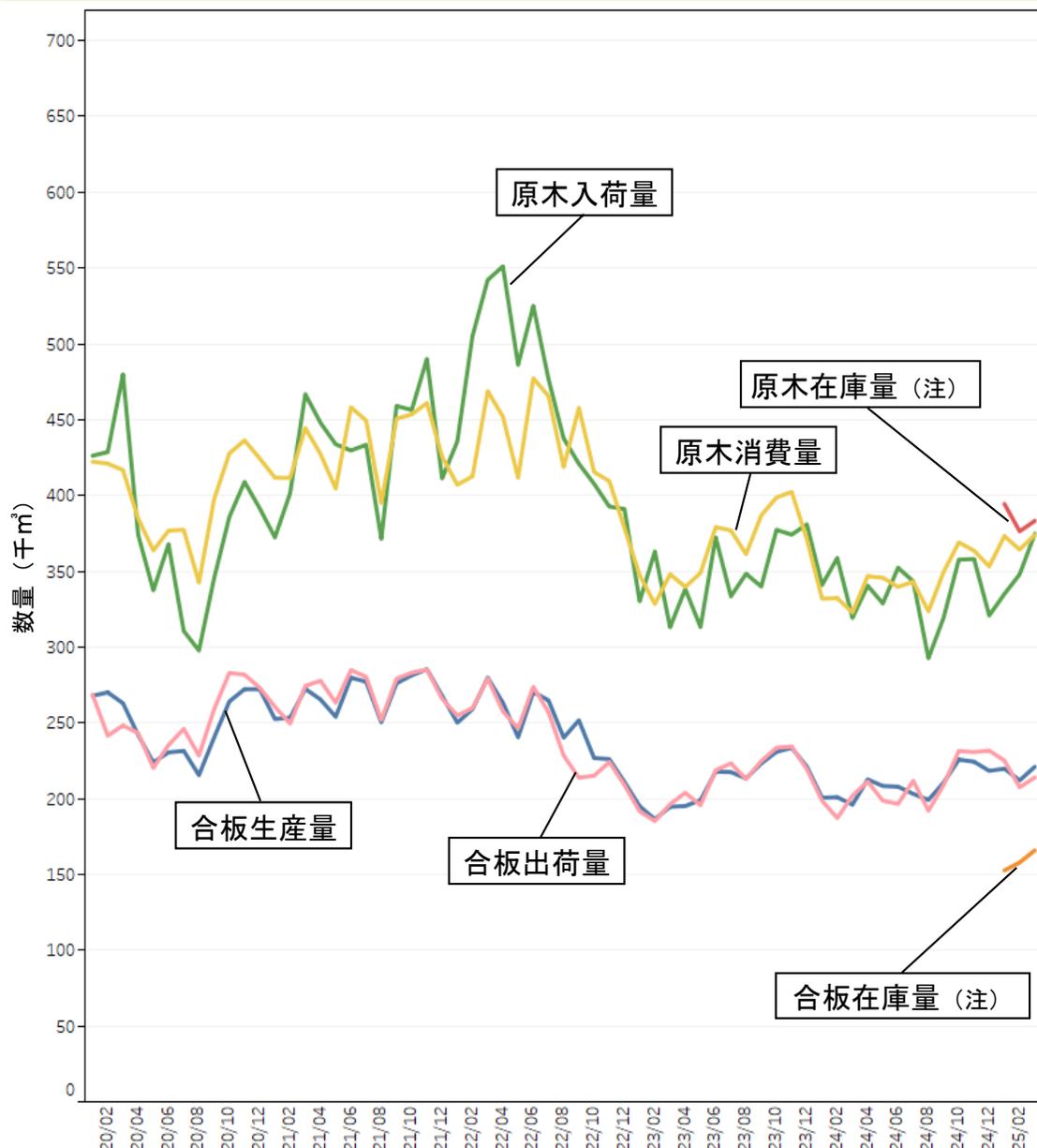
資料：農林水産省「製材統計」

(年/月)

注) 原木在庫量、製材品在庫量については、2025年1月から月末在庫量の算出方法が変更されたため、当該月から掲載。

## (2) 合板 (全国)

- 2025年1～3月の原木の入荷量は1,058千 $m^3$  (前年比104%)。
- 同様に合板の出荷量は647千 $m^3$  (前年比110%)。



	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
1～3月原木入荷量合計(千 $m^3$ )	1,335	1,241	1,483	1,006	1,019	1,058
前年との比較	-	93%	120%	68%	101%	104%
1～3月製材品出荷量合計(千 $m^3$ )	758	784	794	573	588	647
前年との比較	-	103%	101%	72%	103%	110%

資料：農林水産省「合板統計」

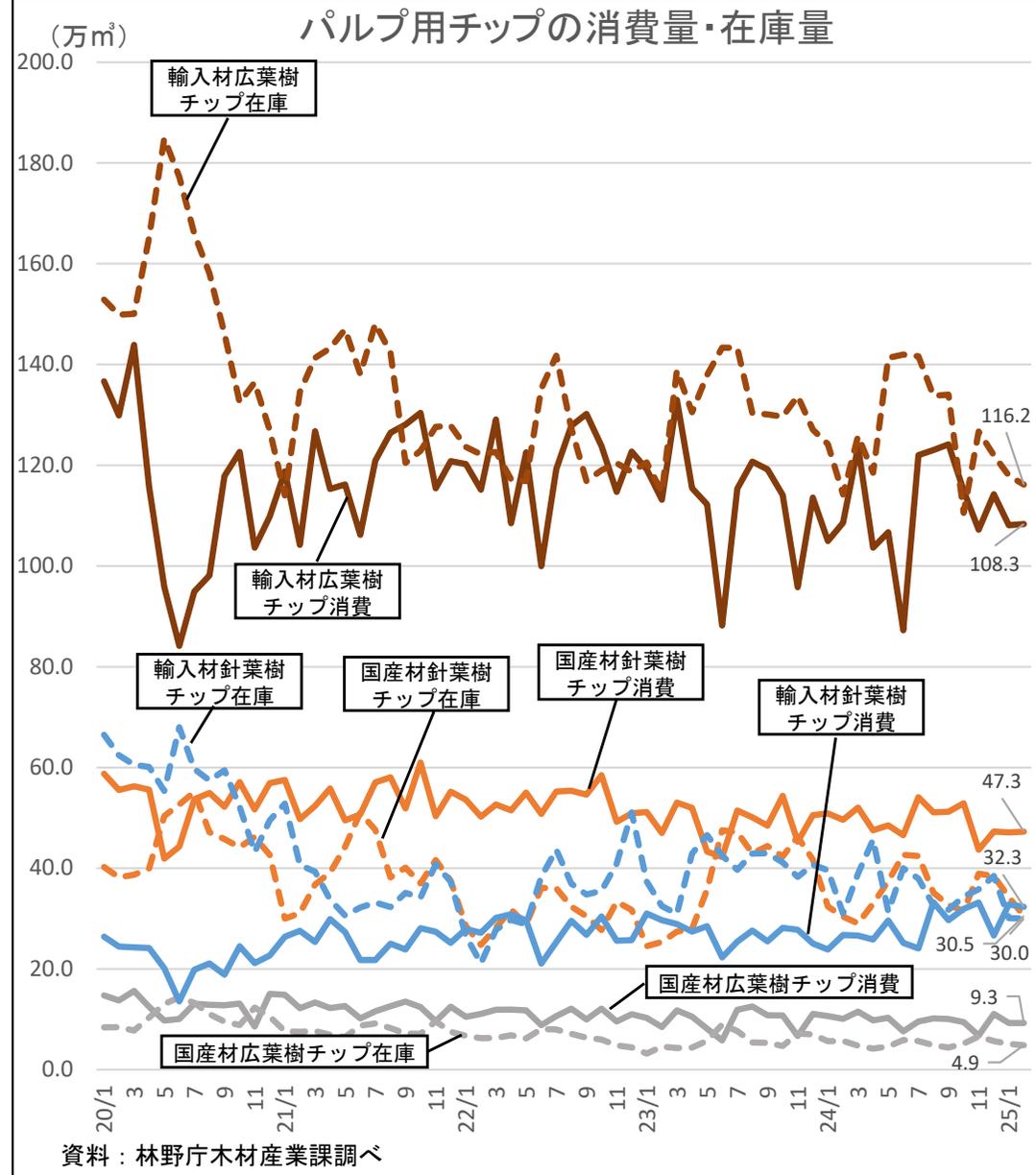
(年/月)

注) 原木在庫量、製材品在庫量については、2025年1月から月末在庫量の算出方法が変更されたため、当該月から掲載。

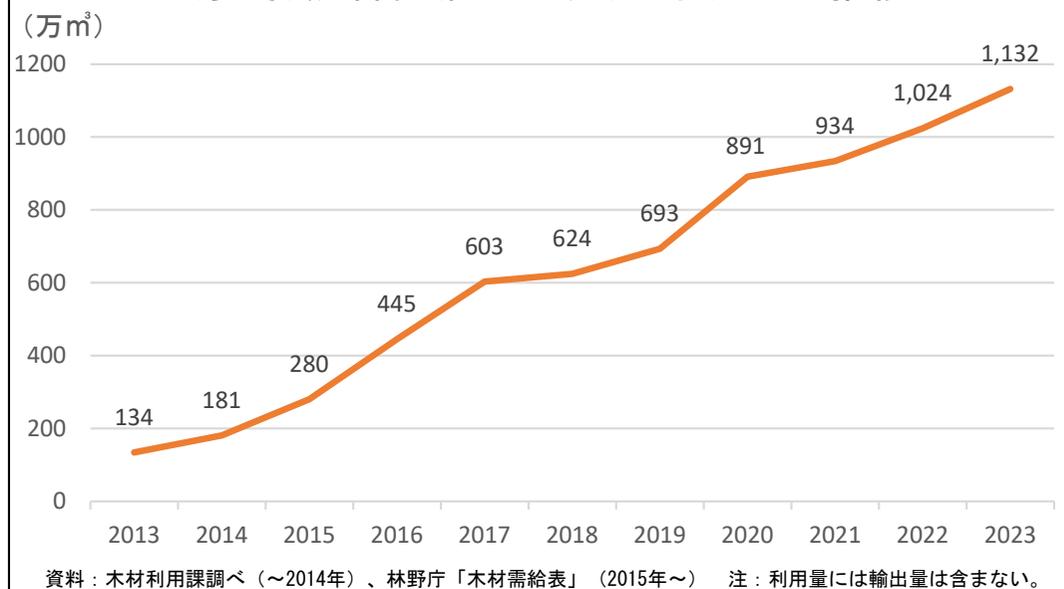
### (3) チップ (全国)

- パルプ用チップの消費について、2025年2月の輸入材広葉樹チップの消費量は108.3万 $\text{m}^3$ 。国産材針葉樹チップの消費量は47.3万 $\text{m}^3$ となっている。
- 燃料材（国内生産）の利用量は、発電利用を中心に増加（過去10年間で約8倍）。

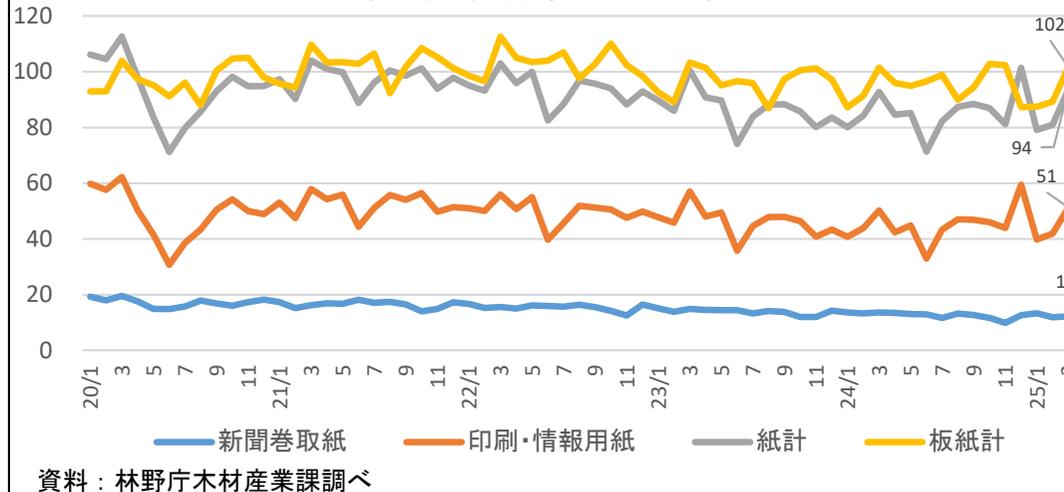
パルプ用チップの消費量・在庫量



(参考)燃料材(国内生産)の利用量の推移



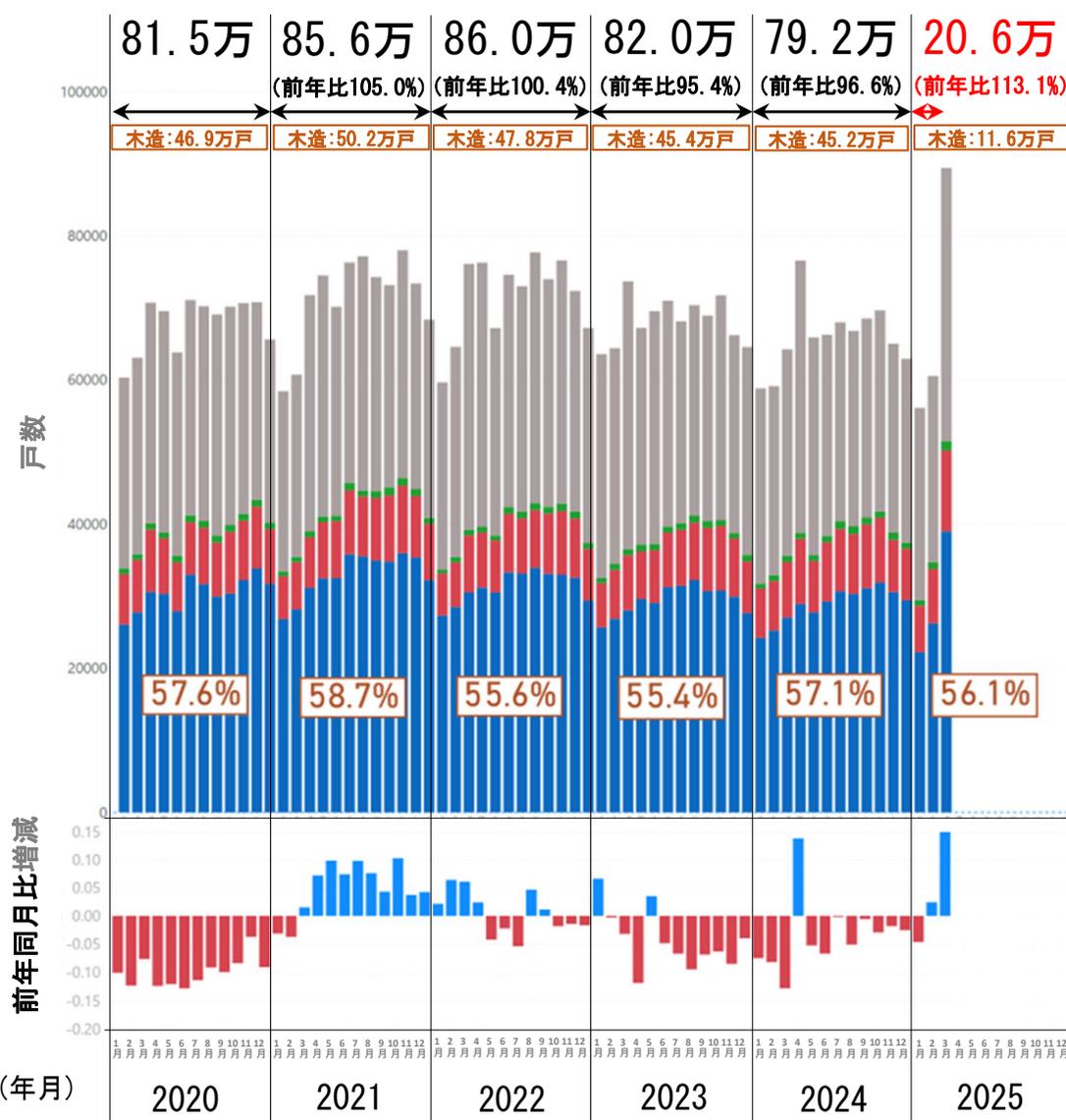
(参考)紙品種別生産高



### 3 住宅着工戸数の動向（2020年1月～2025年3月）

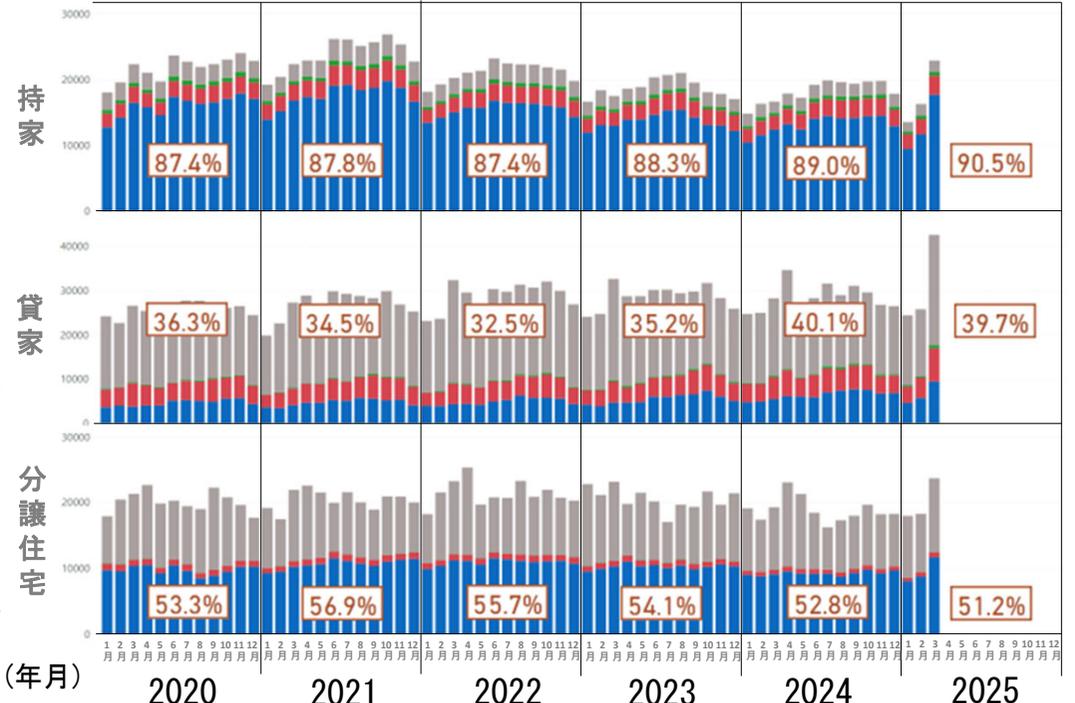
- 2024年の新設住宅着工戸数は79.2万戸（前年比▲3.3%）、このうち木造住宅は45.2万戸（同▲0.5%）となり、2023年の水準を下回ったものの、非木造の34.0万戸（同▲6.9%）に対して木造住宅の減少率は低く留まっており、2024年の新設住宅における木造率は57.1%（前年比+1.7ポイント）となった。
- 2025年1～3月の新設住宅着工戸数は20.6万戸（前年同期比113.1%）、このうち木造住宅は11.6万戸（同115.3%）。

新設住宅着工戸数の推移



構造別の着工戸数	2025年 1～3月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	206,149	182,276	113.1%	201,723	102.2%
■ 非木造	90,482	81,987	110.4%	98,193	92.1%
■ 木造	115,667	100,289	115.3%	103,530	111.7%
■ 木造プレハブ	2,979	2,341	127.3%	2,344	127.1%
■ 2×4	25,270	21,447	117.8%	20,592	122.7%
■ 在来軸組	87,418	76,501	114.3%	80,594	108.5%
□ 木造率	56.1%	55.0%		51.3%	

（参考）利用関係別の着工戸数（ただし、「給与住宅」を除く。）

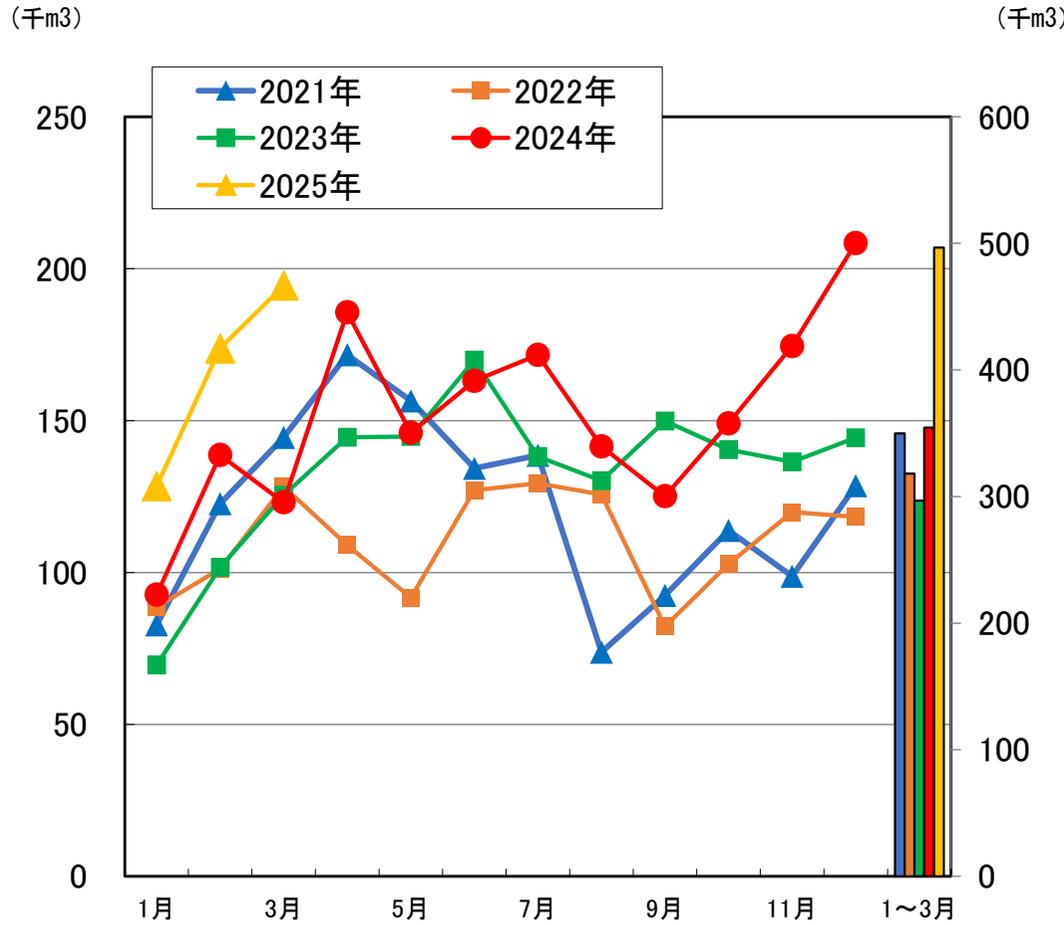


資料：国土交通省「住宅着工統計」

# 4 木材輸出量

・ 2025年1～3月の木材輸出量は、丸太497千m<sup>3</sup>（前年同期比140%）、製材42千m<sup>3</sup>（前年同期比139%）、合板34千m<sup>3</sup>（前年同期比147%）となった。

○丸太輸出量の推移（月別）



資料：財務省易統計  
 ※貿易統計の第4403, 4407, 4412の一部類を集計  
 ※四捨五入により、数値が合わないことがある

○木材輸出量の状況（累計：主な国別・品目別）

輸出先	3月 単月			1～3月累計		
	主要品目内訳(千m3) 前年比(%)			主要品目内訳(千m3) 前年比(%)		
	丸太	製材	合板	丸太	製材	合板
中国	173 160%	7 130%	1 378%	452 144%	16 131%	1 221%
韓国	14 181%	1 98%	0 233%	30 135%	2 120%	0 329%
台湾	6 106%	3 189%	0 350%	14 79%	6 138%	0 350%
米国	0 —	5 127%	0 —	0 —	12 132%	0 —
フィリピン	0 —	3 244%	12 132%	0 —	6 252%	33 145%
その他	1 94%	1 149%	0 211%	1 —	1 91%	0 209%
総計	194 158%	18 145%	12 136%	497 140%	42 139%	34 147%

○税関ごとの丸太輸出量

税関名	管轄※	合計(千m <sup>3</sup> ) 1～3月	比率 1～3月
函館税関	北海道,青森,岩手,秋田	79.1	15.9%
東京税関	山形,群馬,埼玉,千葉,東京,新潟,山梨	16.0	3.2%
横浜税関	宮城,福島,茨城,栃木,千葉,神奈川	5.8	1.2%
名古屋税関	長野,岐阜,静岡,愛知,三重	6.5	1.3%
神戸税関	兵庫,鳥取,島根,岡山,広島,徳島,香川,愛媛,高知	9.2	1.9%
大阪税関	大阪,京都,和歌山,奈良,滋賀,福井,石川,富山	7.7	1.5%
門司税関	山口,福岡,佐賀,長崎,大分,宮崎	134.0	27.0%
長崎税関	福岡,佐賀,長崎,熊本,鹿児島	238.4	48.0%
沖縄地区税関	沖縄	0.0	0.0%

※木材の集荷範囲とは対応していない